

広報

社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

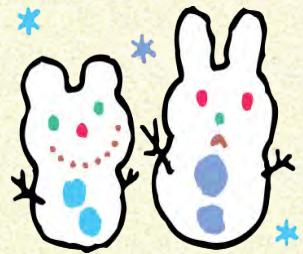


Cosho Nursery And Children's Recreation Center

セバスト ガチャ号

先月の子どもたち

さあて、なにを作ろうか？



No.272

2月号

2026



こども園便り 御所こども園



木育活動 門松作り

十二月二十三日

『自分たちで門松を作つてみよう』でスタートした初めての取り組みです。竹を炙り、ピカピカになるようタオルで拭いて、南天・葉牡丹・千両を挿して、立派な三対の門松が出来ました。



五歳児クラスで大流行しているけん玉と一輪車。ビックリするほどの集中力と忍耐力です。体幹やバランス感覚を養い、脳を活性化させます。



けん玉・一輪車ブーム

☆諏訪南方神社初詣☆

2026年1月7日



校区内にある諏訪南方神社へ初詣に行きました。鳥居をくぐってからの坂道は、大人でもヘトヘトになりますが、神社から見下ろす景色は絶景です。疲れも癒されます！

(以上、主幹教諭
下窪)



給食便り

七草粥 一月七日

七草粥は、一年の無病息災と長寿を願う行事食です。七草（はこべら・すずな・すずしろ・なづな・ほとけのぎ・せり・ごぎよう）に加え、子どもたちが食べやすいように、かまぼこやささみも入れました。「今日は七草粥が一番おいしかった！」と、子どもたちの喜ぶ姿を作る側も元気をもらいました。



(以上、給食室 前田)

食の安心・安全

噛む力

給食やおやつの時間には、よく噛むよう声かけをしています。噛むことは、窒息を防ぐだけでなく、あごや口の中の筋肉の発達を促します。発音がしやすくなったり、表情が豊かになつたりするほか、肥満の抑制にもつながります。



給食では『かじり取る』、シャボン玉遊びでは『吹く』動きを取り入れ、日々の遊びと生活の中で噛む力を育てています。

(以上、食育向上グループ 松岡)

保健便り

耳の健康について

耳は『音を聞く』『身体のバランスをとる』働きをします。耳の不調は気づきにくいこともあるため、次のような様子が見られるときは注意しましょう。

- ・何度呼びかけても反応しない
- ・テレビの音量を普段より大きくする
- 特に乳幼児の場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



(以上、看護師 兼廣)

冬の避難に備えよう

冬の寒い日に避難が必要になつたとき、何を準備しますか？防寒着（ダウンジャケット、手袋、マフラー、帽子など）を着用し、カイロや段ボール、新聞紙などで寒さを防ぎましょう。当園では、毛布や防寒シートなどを備えています。

また、カセットコンロやホットプレートも準備し、寒い日の避難時にも温かい食事を提供できるようにしています。



(以上、リスクコントロールグループ 大山)

児童クラブ便り 児童クラブ未来

冬休みは、恒例のお正月遊びを楽しみました。すごろく、福笑い、羽つき、コマ回し、カルタ、けん玉など、いくつかのグループに分かれて、全員がそれぞれの遊びを経験しました。

毎年のことですが、普段なかなか遊ぶことのないコマ回しには、多くの子どもが苦戦していました。そんな中、四年生の男の子がとても上手にコマを回し、手のひらに乗せる技まで披露してくれました。こども園の園児をはじめ、みんな憧れの眼差しで見つめていました。聞けば、一年生の頃に上級生のお兄さんたちに教えてもらいながら、朝からずっと練習していたのだそうです。これが本当の伝承遊びだなあと感心しました。異年齢集団である児童クラブの良さを、さまざまな場面で生かせるよう、これからも大切にしていきたいと思います。



羽ばたけ学童さん

夏休み・冬休みを経て、一人で留守番ができるようになった上級生が退所し、一月末現在の児童クラブ在籍数は、三十七名です。そのうち男の子は、一年生四名、二年生七名、三年生六名、四年生五名、五年生〇名、六年生一名の計二十三名で、全体の約三分の一を占めます。男の子が多いため、児童クラブはとてもにぎやかです。

外遊びを好む活発な子どもが多い一方で、生き物に興味を持つて熱心に調べる子や、機械に興味があり、おもちゃなどに不具合があると嬉々として分解しようとすると子もいます。好奇心や探究心が旺盛な姿を頼もしく感じています。また最近は、室内で相撲のような、プロレスのような遊びを楽しむ子も多く、ヒヤヒヤする場面もあります。安全に遊べるようルールを確認し、危険がない範囲で危険予知能力やコーディネーション能力を育む経験の一つとして見守っています。子どもたちが安心してのびのびと過ごせるよう、これからも見守っていきたいと思います。

(以上、放課後児童支援員 高崎)



がんばれ！ニッポン！！

学童新聞
2月号

ミラノコルティナ2026冬季オリンピックが2月6日から2月22日までイタリアで開かれます。スキースキー、ホードアイスホッケー、カーリング、スケート、バイアスロン、ボブスレー、スルトシリューなどの競技がおこなわれます。その中でフュアスケートにて調査しました。スケートの技は主にジャンプ、スピンドル、スケートの三つがあります。ジャンプはトウループ、サルコウループ、ブリッジ、バルツィ、アクセルの六種類があります。みなさんは楽しみにおこう！



わくわく理科コーナー
雪の結晶はおよそ35種類あります。その中で特にゆう知な形は、(くじら)「かくごう」(ほんはんじょう)の二つです。

なぜなぜコーナー
①なぜんと旦那がはいているのにからまほしき口される料理は？
②なかなかがんばれない国は？
③ほたもちでなく良パンにぬくもののがおうちでくる日はいつ？
④せんべいをむしゃれてがふりしていいよケイキはなに？

ハイラストコーナー
「節分」 空天地・ゆづき



記者

堂原・長田・湯之口・一氏・森山

ホツト スナップコーナー



今月のテーマ『願いを込めて』

児童クラブでは、エコ活動の一環として、自然物や廃材などを活用し制作活動を定期的に行ってています。また、ふれあい活動では、さまざまな材料を使い、季節に合わせた室内飾りなども製作しています。今回は、今年の干支のリースやまつぼっくりのリース作り、書き初めの様子などをご紹介します。

(放課後児童支援員 倉留)



午どしの干支リース

子どもたちは折り紙が大好きで、日頃からさまざまな作品を作っています。その腕前はなかなかのものです。今回は、干支の『午』を折りました。「馬は難しい！」と言いながらも「良い年になりますように」と、願いを込めて折る姿が見られました。



松ぼっくりのメッセージリース

松ぼっくりを半分にすると花のような形になり、そこにペイントをしました。「ありがとうの気持ちが伝わるように、きれいな色にしようね」と友だちと相談しながら、絵の具で丁寧に色を重ね、グラデーションをつけました。



書き初め

お年始会は児童クラブの恒例行事です。子どもたちは新年の目標や抱負などを書いて、一年のスタートを迎えます。さらに、日本の伝統行事である書き初めに挑戦しました。「はらいがうまくできない」と言いながら、緊張した表情で取り組む姿が見られました。

子どもの小さな成長を見守る大切さ

身の回りのことに気づき、自ら行動しようとする姿は、子どもたちの成長を感じる瞬間のひとつです。

掃除や片付けなど、日常の何気ない場面の中にも、子どもなりの「やってみよう」「できるようになりたい」という気持ちが表れています。そんな子どもたちの姿に目を向けてみてはいかがでしょうか。

親コラム



小さな変化に気づいてみませんか

毎日の生活の中で、子どもたちは本当にたくさんのこと挑戦しています。昨日はできなかったことに、今日は少しだけ手を伸ばしてみたり、うまくいかなくても、もう一度やってみようしたり…。忙しいと、つい目に入りやすいのは「まだできていないこと」かもしれません。でも、ほんの少し立ち止まって見てみると、「ここまでできるようになったんだな」と感じる場面が、きっと見つかります。その小さな変化に気づいてもらえることが、子どもにとって大きな安心につながります。

「できたね」の一言が力になります

子どもは、大人に見てもら正在と感じることで、次の一步を踏み出す勇気をもらいます。うまくいった結果だけでなく、頑張ろうとした気持ちや、途中まで取り組んだ姿に、「がんばっていたね」「やってみたんだね」そんな一言を添えていただけたらと思います。その言葉が、子どもの中に「またやってみよう」という気持ちを育てていきます。

成長の途にある2月です



2月は、次の学年や新しい生活を前に、子どもたちの心が少し揺れやすい時期であります。甘えが強くなったり、落ち着かない様子が見られたりすることもあるかもしれません。そんな姿も、「ちゃんと育っている途中なんだな」と、あたたかく受け止めていただけたら嬉しいです。どうぞこの時期は先を急がず、「ここまで来たね」と声をかけながら、子どもの歩みと一緒に見守っていただけたらと思います。(以上、保育向上グループ)

今月のコラム

Gosho Baby News

このページは、御所こども園や御所季の子保育園の0・1歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

0・1歳児 冬のリスクについて

感染症のリスク

- 冬はウイルスが活発になり、免疫力の低い子どもは、風邪・インフルエンザ・RSウイルス感染症・胃腸炎（ノロウイルス／ロタウイルス／腸管アデノウイルスなど）にかかりやすくなります。栄養のある食事を心がけ、ビタミンやミネラルが豊富な食材を取り入れて、免疫力を高めましょう。

室内環境と体調管理のリスク

- 空気が乾燥すると、喉や鼻の粘膜が乾燥し防御機能が低下します。また、水分摂取量も減りがちなので、脱水にも注意しましょう。
- SIDS（乳児突然死症候群）は、統計的に冬に多い傾向が見受けられます。過度な暖房や着せすぎが原因の可能性も指摘されています。エアコンなどで室温(18～23℃程度)と湿度(50～60%)を適切に保ちましょう。



室内での事故のリスク

- 室内で過ごす時間が増えるため、おもちゃや家具の配置によっては、転落・転倒のリスクが高まります。また、暖房器具（ストーブ）や加湿器の蒸気、熱い飲み物などによるやけど、小さなおもちゃの誤飲にも注意しましょう。

外遊びでのリスク

- マフラー や フード、長すぎる紐などは遊具に引っかかる危険性があります。動きやすく安全な服装を選び、手袋やマフラーは外して遊ぶのが理想です。

御所こども園での対策

- 手洗い：職員も手洗い、手指消毒を徹底して行っています。
- 室内：整理整頓を心掛け、転倒・誤飲防止に努めています。
- 午睡：各部屋に室温、湿度計があり、子どもたちが気持ちよくお昼寝ができる環境を整えています。



0・1歳児の子どもたちも、ハイハイからよちよち歩きへと成長し、お着替えや靴を履くことも自分でしたがるなど、日々成長を見せています。今日も、周りの大人に癒しを届けてくれるかわいらしくい子どもたちです。



（以上、リスクコントロールグループ）

保育園便り 御所季の子保育園

寒さの厳しい日が続いています
が、園庭や散歩先では、冷たい空気の中でも元気いっぱいに体を動かす子どもたちの姿が見られます。手袋をはめるのに苦戦したり、吐く息が白くなることを不思議そうに眺めたりしながら、冬ならではの発見もたくさんあります。年度のまとめに向かうこの時期、子どもたち一人ひとりの成長を大切に見守っていきたいと思います。

もちつき大会 十二月二十七日

祖父母の方々にもご参加いただき、餅つき大会を行いました。園内にはぎやかで温かな雰囲気に包まれ、子どもたちは杵を振るう様子に歓声を上げ、つきたてのお餅ができあがる瞬間を楽しんでいました。世代を超えた交流の中で、日本の伝統行事に触れる貴重な時間となりました。

(以上、保育士 稲留)

寒さの厳しい日が続いています
が、園庭や散歩先では、冷たい空気の中でも元気いっぱいに体を動かす子どもたちの姿が見られます。手袋をはめるのに苦戦したり、吐く息が白くなることを不思議そうに眺めたりしながら、冬ならではの発見もたくさんあります。年度のまとめに向かうこの時期、子どもたち一人ひとりの成長を大切に見守っていきたいと思います。



ホッと!!スマップコーナー

健 康 便 り

家庭での嘔吐・下痢の対処法

季節の変わり目は体調を崩しやすく、嘔吐や下痢などの症状が見られることがあります。お子さんの様子をよく観察し、無理のない対応を心がけましょう。

■下痢をしたとき

便の状態（色・固さ・血液が混じっていないか）を確認します。可能であれば便の写真を撮つておくと、受診時に医師へ状況を伝えやすくなります。

■吐いたとき

嘔吐物が喉に詰まらないよう、頭と体を横向きにして寝かせましょう。口の周りを清潔に保ち、嘔吐物の処理後はしっかりと手洗いを行いましょう。

受診する際は、体温・顔色・呼吸の様子、嘔吐や下痢の回数／状態などを確認しておくと安心です。水分補給は大切ですが、嘔吐や下痢があるときは一度にたくさん飲ませず、経口補水液などを少量ずつ、こまめに与えてください。症状が落ち着くまでは無理をさせず、ゆっくりと休ませてあげましょう。(以上、保育士 諸隈)



給食便り

食物アレルギーへの対応について

当園では、食物アレルギーをお持ちのお子さんが安心して給食を楽しめるよう、以下の点に留意して対応しています。

医師の指示に基づく対応

- ・医師の診断書・指導管理表をもとに、除去食・代替食を提供しています。自己判断による除去・解除は行わず、必ず書面で確認します。

調理・配膳時の安全管理

- ・アレルギー対応食は、使用する食材や調理器具を分けて調理しています。調理から配膳まで複数の職員で内容確認を行い、誤食防止に努めています。

最新のアレルギー状況を把握するため、新年度開始前に指導管理表のご提出をお願いしています。安心・安全な給食提供のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



一月の献立より ミートローフ

【材料】(五人分)

□ 合い挽き肉	一八〇グラム
□ ミックスベジタブル	四〇グラム
□ 玉ねぎ	九〇グラム
□ 卵	一二五グラム
□ パン粉	一〇グラム
□ 牛乳	三〇グラム
□ 塩こしょう	少々
□ ケチャップ	三〇グラム

【下準備】

オーブンを二〇〇度に予熱しておく

【作り方】

- ①玉ねぎをみじん切りにする
- ②ボウルにパン粉と牛乳を入れて混ぜ、合い挽き肉、ミックスベジタブル、玉ねぎを加えてさらによく混ぜる
- ③型にクッキングシートを敷き、②を詰める
- ④③をオーブンで約三〇分焼いたら完成



(以上、栄養士 川田原)

G.K.M編集局

児童クラブには、現在1年生から6年生まで37名の子どもたちが在籍しています。

毎日学校から帰ると、宿題を済ませてからおやつを食べ、年齢に関係なく楽しそうに遊んでいます。

ここでは、そんな子どもたちが今夢中になっている遊びをご紹介します。



鬼ごっこ

年齢に関係なく、逃げる子も追いかける子も笑顔いっぱいです。思いやりを感じる場面も多く、順番を譲り合う姿も見られます。



ダンス

グループで、タブレットの音楽に合わせてよく練習しています。誕生会では、みんなに成果を披露してくれます。なかなか本格的です。



バレー・ボール

トスやレシーブのコツを少しずつつかみ、ボールをつないでいます。違う方向へ飛んでしまうこともありますが、だんだん慣れてきています。



ジェンガ

そっとブロックを抜くドキドキ感に、笑顔があふれます。成功すると「やった！」と歓声が上がります。集中力も育ちます。

日々の遊びや生活の中での小さな関わりが、子どもたちの大きな成長につながっています。AI時代を生きる子どもたちには、こうしたコミュニケーションや経験の中で育まれる協調性・主体性・創造性が大切だと言われています。これからも、子どもたちが安心して友だちと関わる場でありたいと思います。 (広報グループ)



体調を崩しやすい季節でもありますので、引き続き健康管理に気を配りながら、子どもたちが元気に過ごせるよう見守りたいと思います。
(島)

寒さの厳しい日が続きますが、子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。冷たい風の中にも、柔らかな日差しを少しずつ感じる二月。外遊びの際に「芽が出てる！」と気づいた子どもがいて、季節の移ろいを感じています。ふわりと梅の花の香りを楽しめるのも今だけ。ぜひ、子どもと春を探しに公園へ出かけてみてくださいね。

すが、子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。

編集後記

セバストガチョウ号

2026年2月1日発行

〒891-0116 鹿児島市上福元町5682番地 御所こども園 TEL:099-268-5122 e-mail:info-gosho@seihoufukushikai.jp HP:<https://seihoufukushikai.jp>

発行・編集／社会福祉法人清豊福祉社会広報グループ 印刷／御所こども園 12月21日～1月20日の記事を掲載しています